



教育は  
未来へつなぐ  
希望の輪

2026年4月22日（水）

愛知県教育委員会教育部

義務教育課 教科指導・人権教育グループ

担当 谷川、長谷川

内線 3915、3913

ダイヤルイン 052-954-6799

高等学校教育課 教科・定通指導グループ

担当 亀田、武田

内線 3903、3918

ダイヤルイン 052-954-6787

## 2025年度「ラーケーションの日」に関する調査結果について

愛知県教育委員会では、「愛知県『休み方改革』プロジェクト」の一環として、家族と子供と一緒に過ごせる仕組みづくりに取り組んでいます。

この度、「ラーケーションの日」\*について、その成果や課題を検証し、今後の改善に役立てるため、児童生徒、保護者、名古屋市を除く53市町村の教育委員会と市町村立学校、全ての県立高校・中学校・特別支援学校を対象に調査を実施し、結果がまとまりましたので、お知らせします。

### 1 主な成果

#### ○ 休み方改革の推進

- ・ 小学生では、約4割が、中学生・高校生では、約3割が「ラーケーションの日」を取得した。【別紙1】
- ・ 児童生徒の9割以上が「ラーケーションの日」が今後も続いてほしいと考えている。【別紙2 ②、④】

#### ○ 学校外の活動の充実

- ・ 「ラーケーションの日」を取得した多くの家庭が、スポーツやキャンプなどの体験活動を行ったり、歴史や文化に触れる活動を行ったりするなど、普段、学校では行えない活動に取り組んだ。【別紙2 ⑤、⑫、⑲、⑳】
- ・ 「ラーケーションの日」の良さとして、児童生徒、保護者からは、「家庭内のふれあいが増える」といった声が多かった。【別紙2 ③、⑩、⑮、㉒】

### 2 今後の取組ポイント

#### ○ 「ラーケーションの日」の取得促進

- ・ 保護者の約2割が「『ラーケーションの日』を取得したいが、仕事の都合で難しい」と回答している。関係部局と連携して、企業や県民全体に「ラーケーションの日」をさらに周知していくことで、「ラーケーションの日」に休暇の取りやすい環境づくりを進めていく。【別紙2 ⑧、㉓】
- ・ 「ラーケーションの日」の計画を立てる際の参考になるよう、ポータルサイトをより見やすく、わかりやすく改善する。【別紙2 ④、⑦、㉖】

- 教職員が自分の子の「ラーケーションの日」のために休暇が取得できる環境づくり
  - ・ 教職員の約3割が「自分の子の『ラーケーションの日』のために有給休暇を取得したいが難しい」と回答している。教職員の「ラーケーションの日」取得に向けた有効事例を集約し、市町村教育委員会や県立学校に紹介していく。【別紙2 ⑮、⑱、㉔、㉗】

※ 「ラーケーションの日」とは… 県内公立学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）に通う子どもたちが、保護者等とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる校外学習活動の日。年3日まで取得可能。

（添付資料）

別紙1 2025年度「ラーケーションの日」取得状況調査

別紙2 2025年度「ラーケーションの日」アンケート調査結果

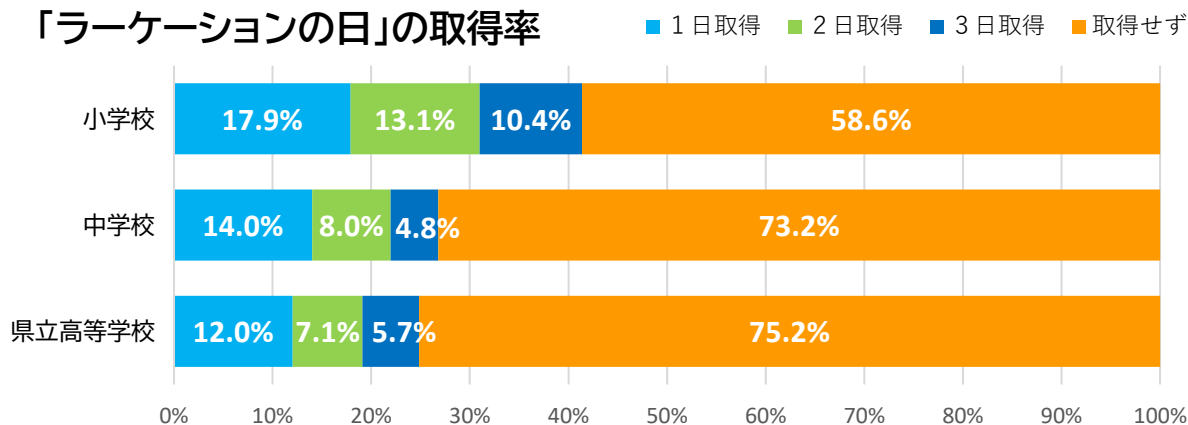
# 2025年度「ラーケーションの日」取得状況調査

「ラーケーションの日」とは… 県内公立学校(小・中学校、高等学校、特別支援学校)に通う子どもたちが、保護者等とともに、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる校外学習活動の日。年3日まで取得可能。

○ 「ラーケーションの日」取得状況調査(2025年4月1日から2026年3月24日までの取得状況)

**回答数** 市町村立学校 小学校 698校 中学校 302校\* 義務教育学校 2校 特別支援学校 4校 高等学校 1校  
 県立学校 高等学校 148校 特別支援学校 34校 \*中学校は県立中学校を含む

## 「ラーケーションの日」の取得率



※取得率:全校児童生徒のうち、「ラーケーションの日」を取得した児童生徒の割合

### 市町村立学校・県立中学校

小学校		中学校	
取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)
小学校1年生	40.1% (1.8日)	中学校1年生	27.2% (1.6日)
2年生	44.0% (1.8日)	2年生	30.3% (1.7日)
3年生	45.0% (1.8日)	3年生	23.5% (1.6日)
4年生	42.9% (1.8日)	特別支援学級	20.3% (1.7日)
5年生	40.2% (1.8日)	中学校計	26.8% (1.7日)
6年生	40.3% (1.8日)	高等学校計	5.0% (1.4日)
特別支援学級	26.8% (1.8日)	特別支援学校小学部	26.9% (2.0日)
小学校計	41.4% (1.8日)	中学部	12.7% (1.8日)
		高学部	26.8% (1.8日)
		特別支援学校計	23.0% (1.9日)

### 県立高等学校・特別支援学校

高等学校		特別支援学校	
取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)	取得率 (平均取得日数)
1年生	18.2% (1.6日)	小学部	25.0% (1.7日)
2年生	29.2% (1.7日)	中学部	23.0% (1.7日)
3年生	27.5% (1.9日)	高等部	21.6% (1.6日)
4年生	20.9% (1.9日)	計	23.1% (1.7日)
計	25.0% (1.7日)		

## 2025年度「ラーケーションの日」アンケート調査結果

## 調査の概要

- 調査実施期間 2025年12月8日(月)から2025年12月26日(金)まで
- 調査方法 インターネットアンケート
- 調査対象・回答者数

## 【市町村立学校・県立中学校】

児童生徒	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	合計
	21,371	22,224	19,221	18,583	17,592	98,991
保護者	小学生のみ	中学生のみ	小中学生両方	その他(高校生など)		合計
	27,875	12,835	10,259	103		51,072
教職員	校長・教頭	主幹・教諭	事務職員	講師	その他	合計
	1,147	10,582	587	1,762	486	14,555
学校	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
	696	302	2	1	4	1,005
教育委員会						合計
						53

【参考】 県内53市町村の学校数・教職員数・児童生徒数〔県立中学校5校を含む〕(2025年5月1日現在)

児童生徒数 417,222名 (小学校 271,798、中学校 143,872、義務教育学校 424、高等学校 629、特別支援学校 499)

教職員数 31,004名 (小学校 19,659、中学校 10,912、義務教育学校 57、高等学校 47、特別支援学校 329)

学校数 1,007校 (小学校 698、中学校302、義務教育学校 2、高等学校 1、特別支援学校 4)

## 【県立高等学校・特別支援学校】

生徒	高等学校1年生	高等学校2年生	高等学校3年生	高等学校4年生	特別支援学校	合計		
	4,212	4,065	3,541	65	196	12,079		
保護者	高等学校	特別支援学校				合計		
	14,360	706				15,066		
教職員	校長・教頭	部主事	教諭	実習助手	事務職員	講師	その他	合計
	124	50	1,126	61	30	156	54	1,601
学校	高等学校	特別支援学校				合計		
	147	29				176		

【参考】 県立学校の教職員数・児童生徒数(2025年5月1日現在)

児童生徒数 119,216名 (高等学校 113,348、特別支援学校 5,868(中等部・高等部 3,828))

教職員数 12,768名 (高等学校 9,117、特別支援学校 3,651)

学校数 182校 (高等学校 148(校舎1を含む)、特別支援学校 34(校舎3、教室2を含む))

## ○ 主な調査項目

- ・ 児童生徒:「ラーケーションの日」取得状況/よさや負担/活動内容/取得後の感想/自由記述
- ・ 保護者:「ラーケーションの日」取得状況/認知度/よさや負担/活動内容/取得後の感想/自由記述
- ・ 教職員:有給休暇の取得状況/教職員が感じた児童生徒や保護者の様子/「ラーケーションの日」日課
- ・ 学校:校務支援員等の有効性/子供のラーケーションのために有給休暇を取得した教職員がいた学校の割合

## 【市町村立学校のみ】

- ・ 教育委員会:「ラーケーションの日」の効果/校務支援員等の配置状況

# 市町村立学校・県立中学校

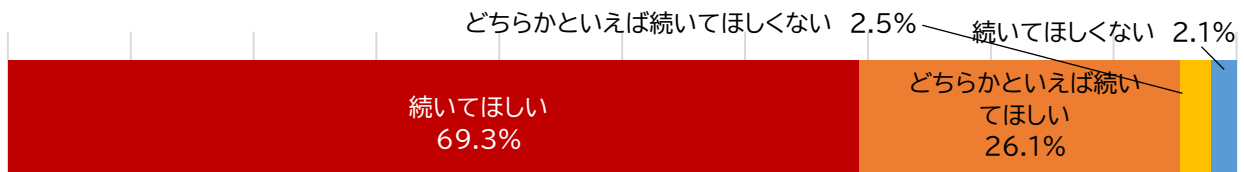
## 1 児童生徒

回答者	小学5年生	21,371名	小学6年生	22,224名
	中学1年生	19,221名	中学2年生	18,583名
	中学3年生	17,592名	合計	98,991名

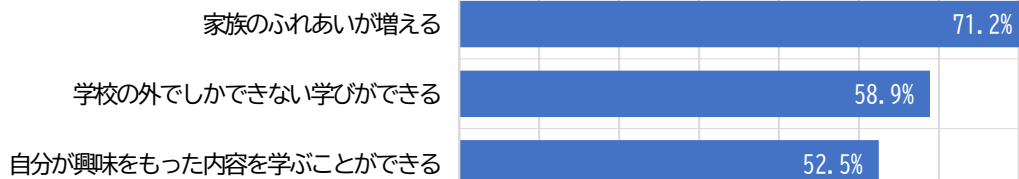
### ① 「ラーケーションの日」を取得したか



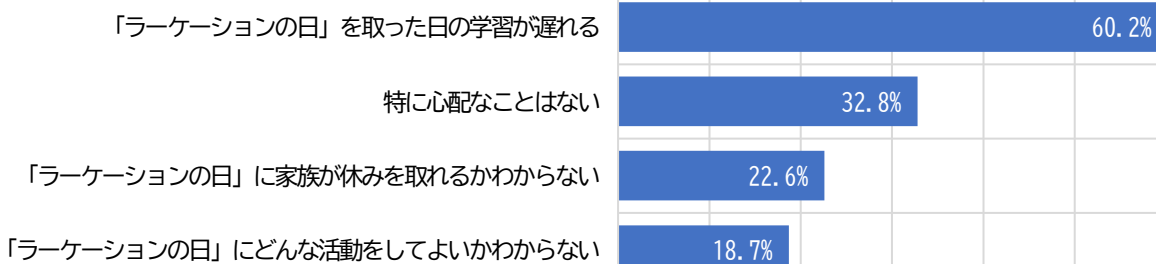
### ② 「ラーケーションの日」は今後も続いてほしいか



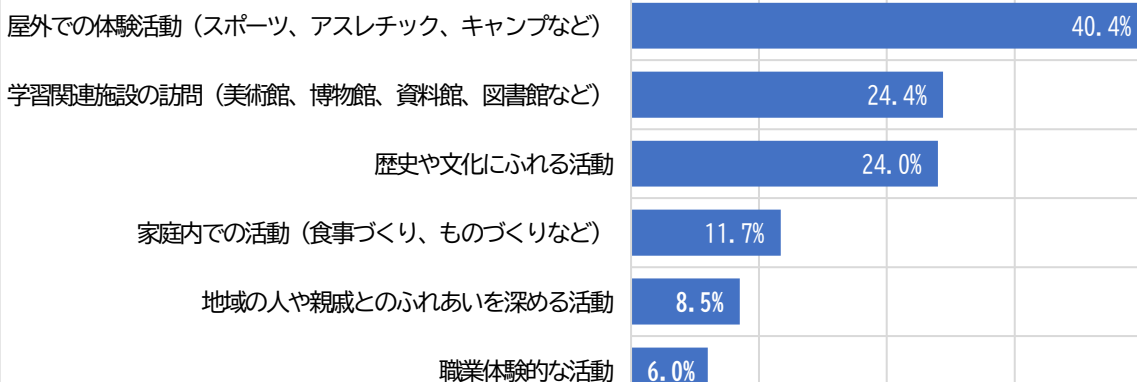
### ③ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



### ④ 「ラーケーションの日」で心配なこと（複数回答可）



### ⑤ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



## ⑥ 「ラーケーションの日」を取得して学習の遅れを感じたか



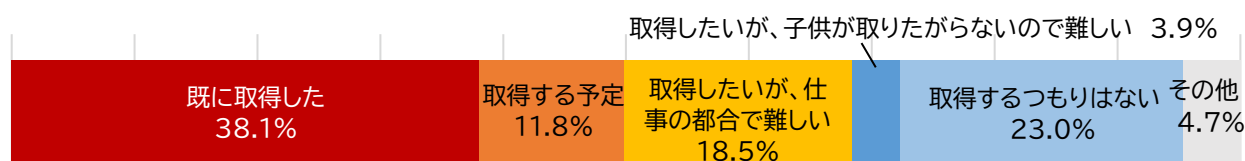
## ⑦ 「ラーケーションの日」に関するご意見（自由記述：一部）

- ・ラーケーションは家族との時間を大切に過ごせるとも良いシステムだと思う。
- ・家族で平日になかなか行く機会のない場所に行けるのがよい。
- ・親もラーケーションを取れるような環境になってほしい。
- ・みんなより勉強が遅れてしまう可能性がある。
- ・ラーケーションの日にどんなことをするとよいかわからない。
- ・学ばず、ただの休みのために使っているようにも感じる。

## 2 保護者

回答者 小学生のみ 27,875名 中学生のみ 12,835名  
 小中学生両方 10,259名 その他(高校生など) 103名  
 合計 51,072名

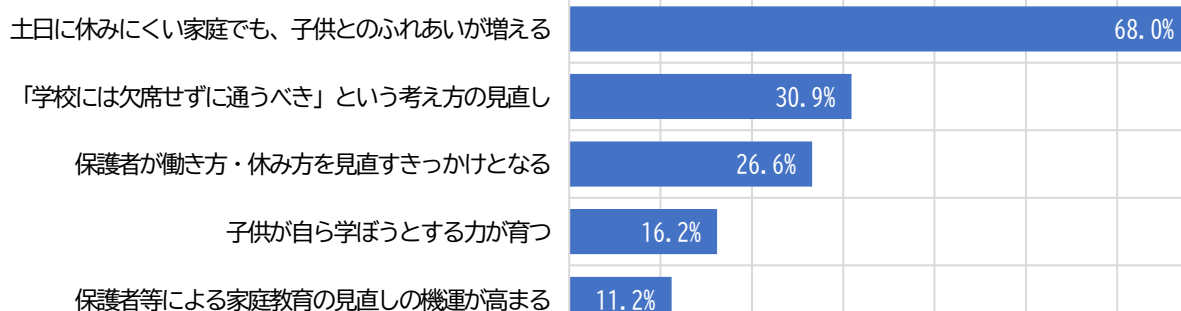
## ⑧ 「ラーケーションの日」を取得したか



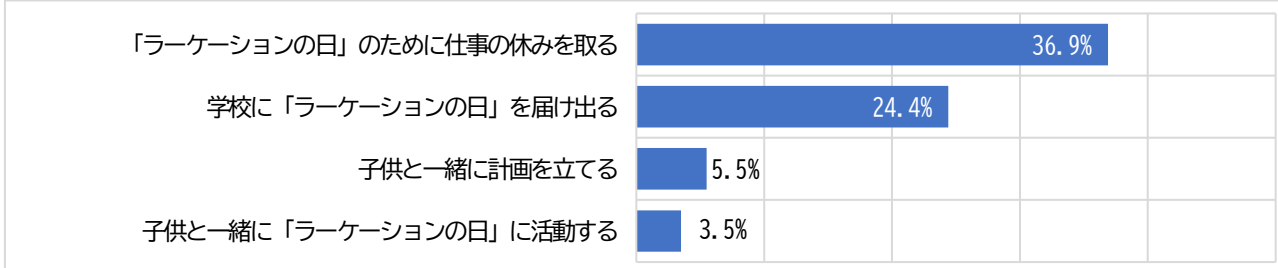
## ⑨ 「ラーケーションの日」のルールのうち、知っていることは何か（複数回答可）



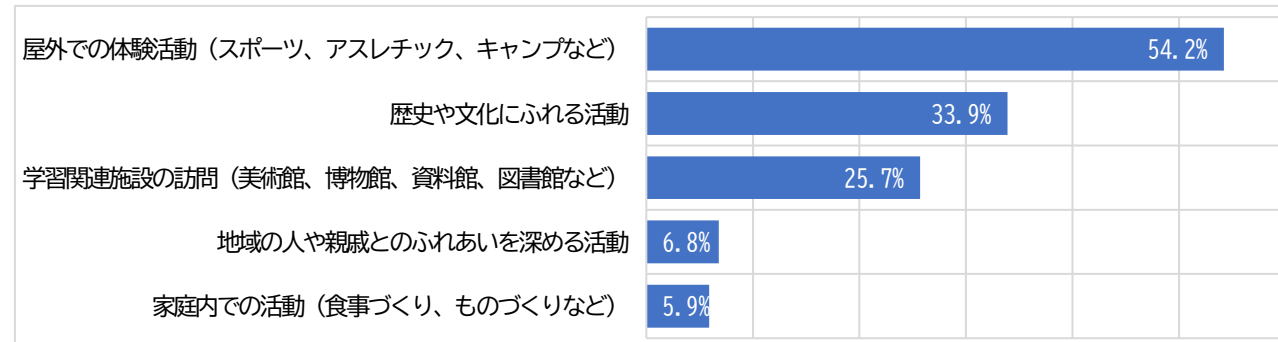
## ⑩ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



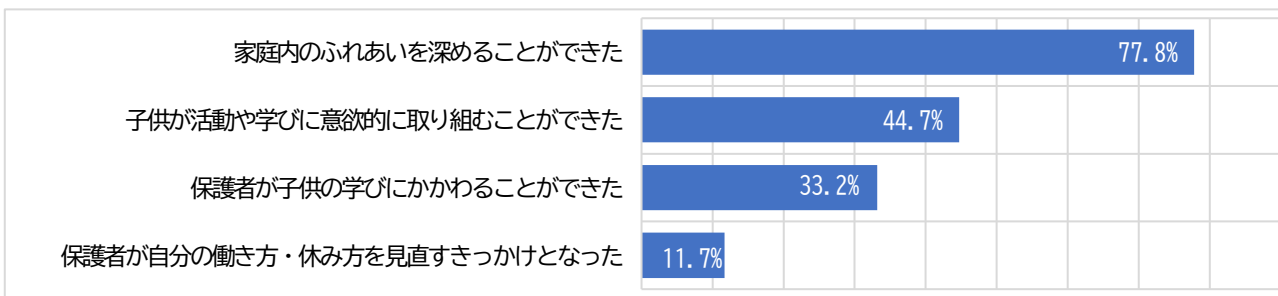
⑪ 「ラーケーションの日」で負担に感じること（複数回答可）



⑫ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



⑬ 「ラーケーションの日」を取得してよかったこと（複数回答可）



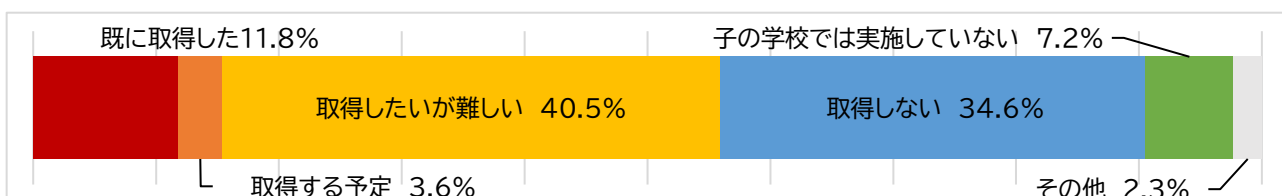
⑭ 「ラーケーションの日」に関するご意見（自由記述：一部）

- ・土日休みがとれない家庭にとって、平日を使えて子供が学校を欠席扱いにならないのはよい。
- ・何を学ばせたいか、体験させたいかを考える機会になる。
- ・ラーケーションがあると平日に子供の行きたいところに混まずにいけるから嬉しい。
- ・学校の授業が受けられず、休んだ分を家庭で補うことができるか不安である。
- ・保護者が会社を休みやすくなる環境づくりをしてほしい。
- ・事前の日程報告は難しい。急に仕事が休みになってラーケーションにあてたい場合に使えない。

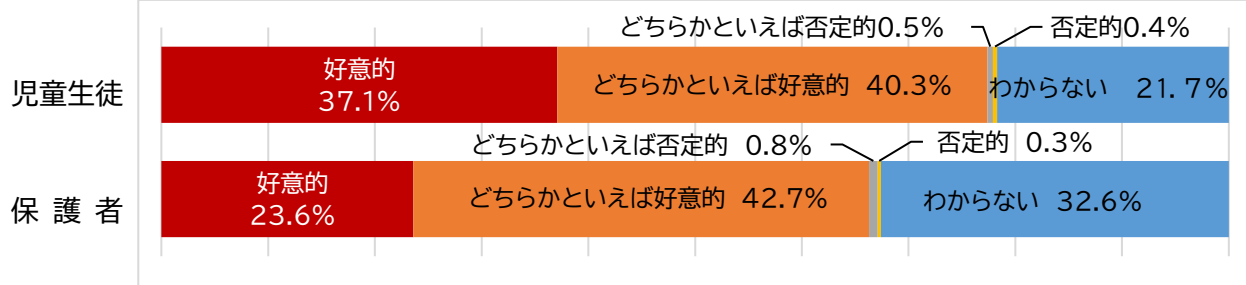
### 3 教 職 員

**回答者** 校長・教頭 1,147 名 主幹・教諭 10,582 名  
事務職員 578 名 講師 1,762 名 その他 486 名  
合計 14,555 名

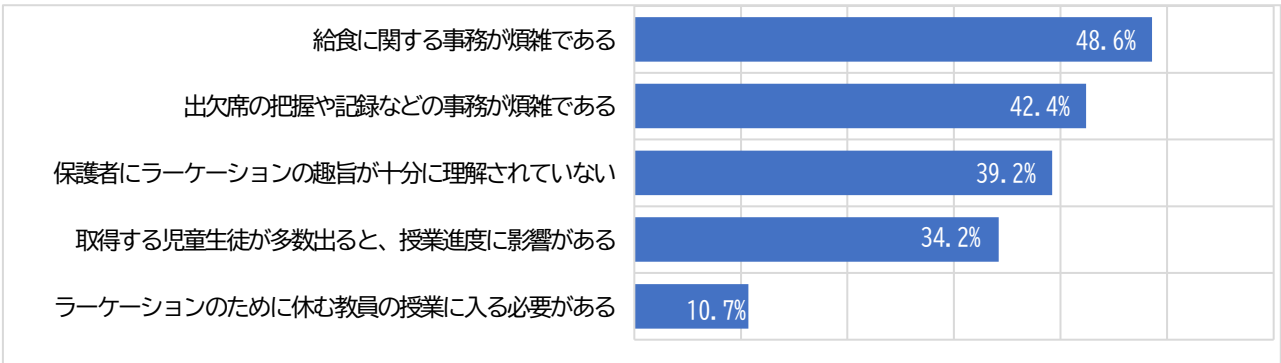
⑮ 自分の子の「ラーケーションの日」のために有給休暇を取得したか



⑩ 教職員が感じた「ラーケーションの日」に対する児童生徒・保護者の反応



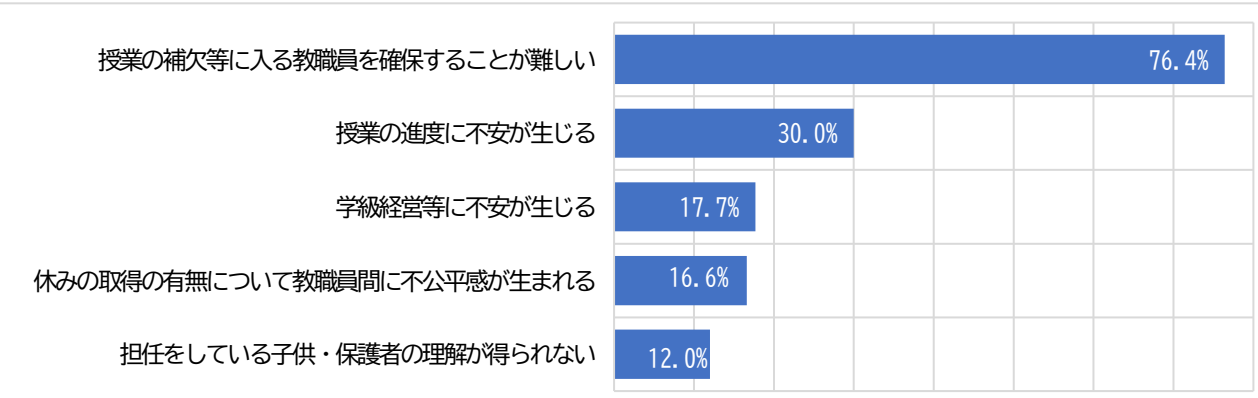
⑪ 「ラーケーションの日」の課題（複数回答可）



4 学 校

回答数 小学校 696 校 中学校 302 校（県立5校含む）  
義務教育学校 2 校 高等学校 1 校 特別支援学校 4 校  
合計 1,005 校

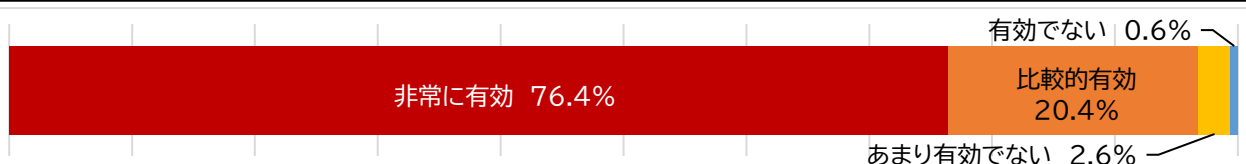
⑫ 教職員が「ラーケーションの日」のために年休を取得するときに困ること（複数回答可）



⑬ 負担軽減のために配置された職員



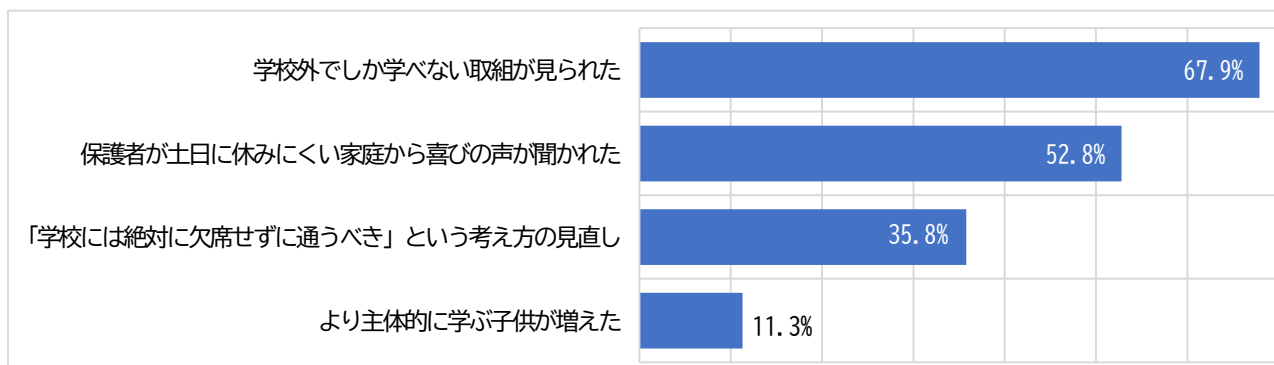
⑭ 負担軽減のために、校務支援員や非常勤職員が配置されたことの効果



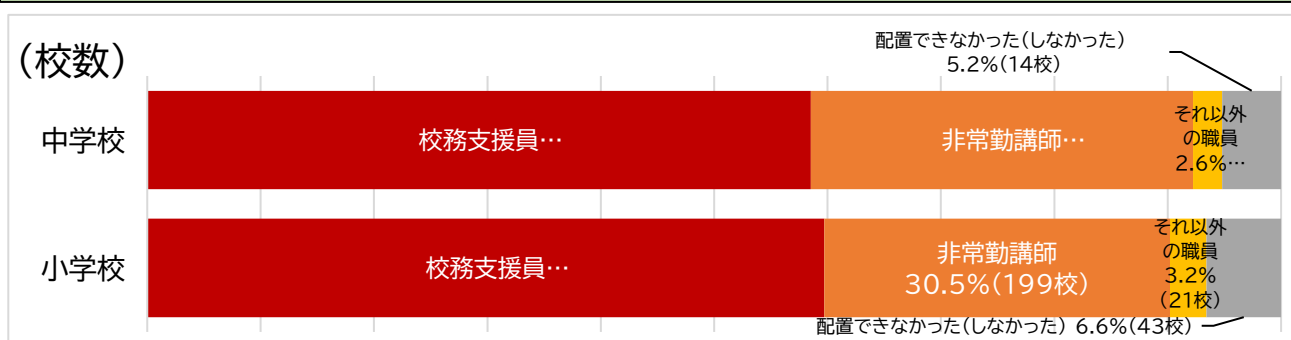
## 5 教育委員会

回答者 53 市町村

### ① 「ラーケーションの日」の実施によって、効果を感じたこと（複数回答可）



### ② 人的補充の状況



# 県立高等学校・特別支援学校

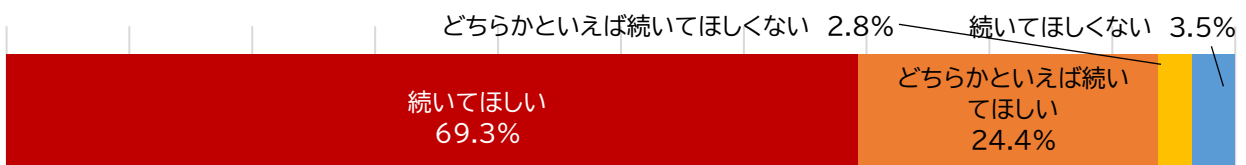
## 1 生 徒

回答者 高等学校 11,883 名 特別支援学校 196 名  
合計 12,079 名

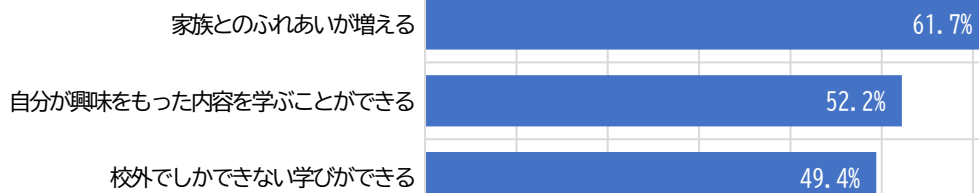
### ②③ 「ラーケーションの日」を取得したか



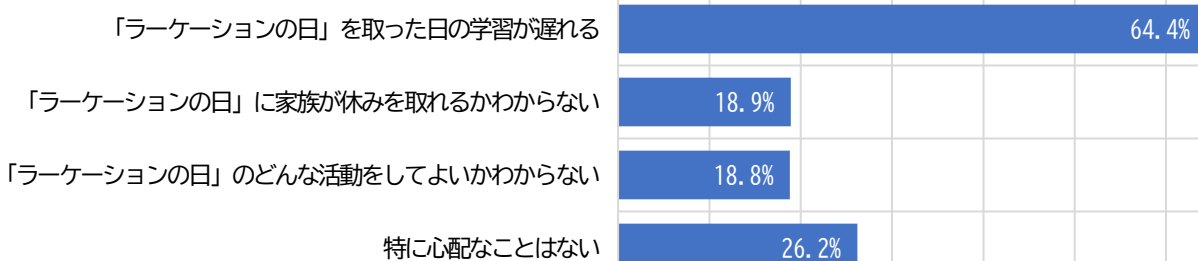
### ②④ 「ラーケーションの日」は今後も続いてほしいと思いますか



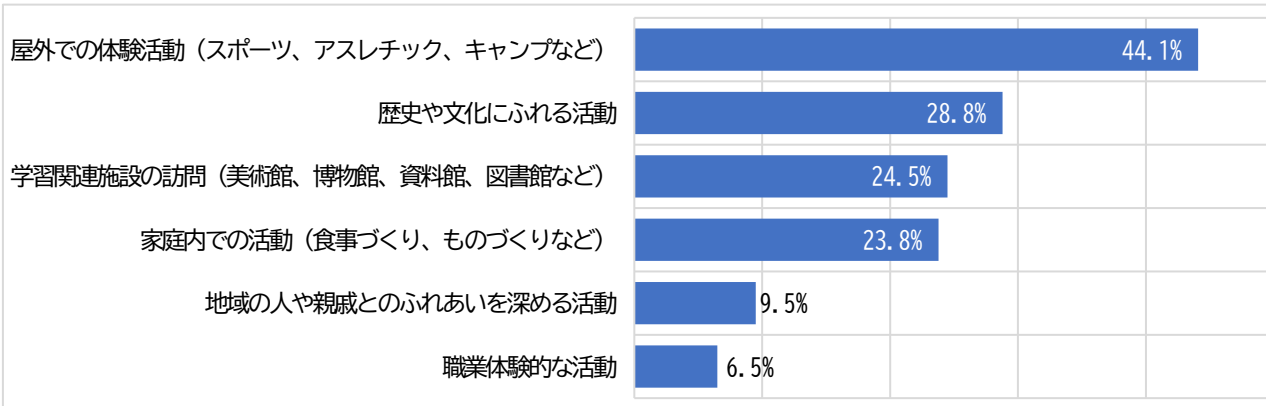
### ②⑤ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



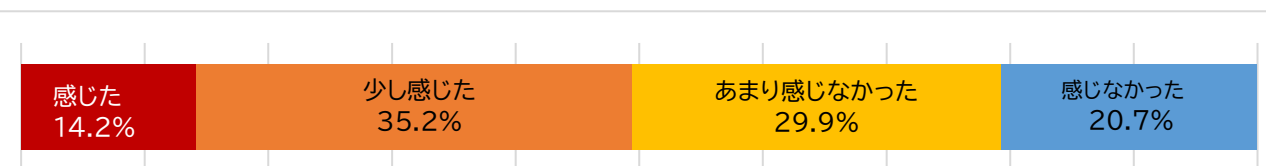
### ②⑥ 「ラーケーションの日」で心配なこと（複数回答可）



⑳ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



㉑ 「ラーケーションの日」をとったことにより、学習の遅れを感じましたか



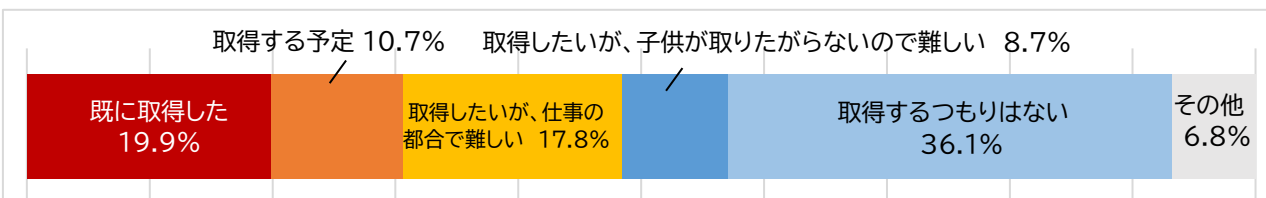
㉒ 「ラーケーションの日」に関するご意見（自由記述：一部）

- ・ 普段、家族は仕事で忙しく休みも合わないため、久しぶりに家族とゆっくり過ごす時間が取れた。
- ・ 学習目的で学校以外の場所に行くことができる機会があるのはよいと思う。
- ・ 平日限定のイベントや、期間限定の展示に行くことができ、貴重な経験となった。
- ・ 申請用紙をもらうために職員室へ行くのが不便であり、申請期限も早すぎると感じる。
- ・ 1日休むだけで授業の進度が大きく進んでしまうため、遅れを取り戻すのが大変で不安に感じる。
- ・ 生徒だけでなく、保護者の職場（社会人）や専門学校にも同様の制度があれば、より家族との時間が取りやすくなる。

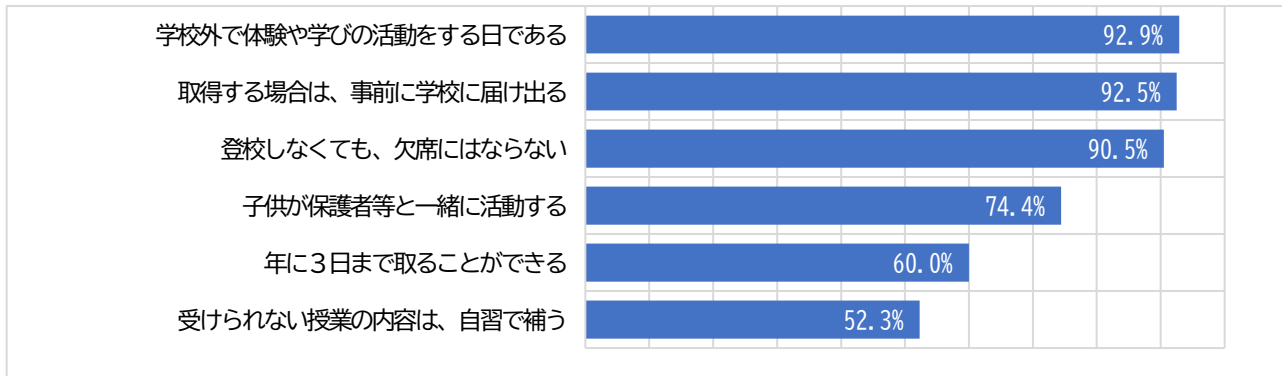
## 2 保護者

回答者 高等学校 14,360名 特別支援学校 706名  
合計 15,066名

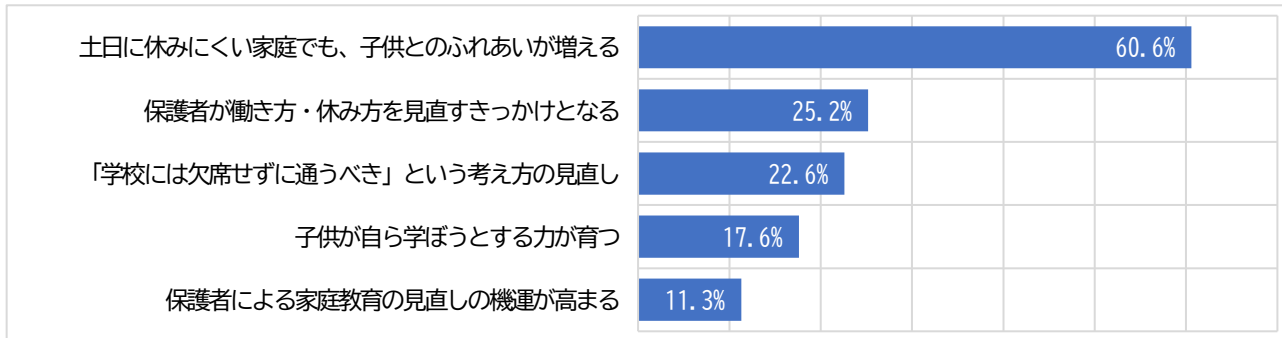
㉓ 「ラーケーションの日」を取得したか



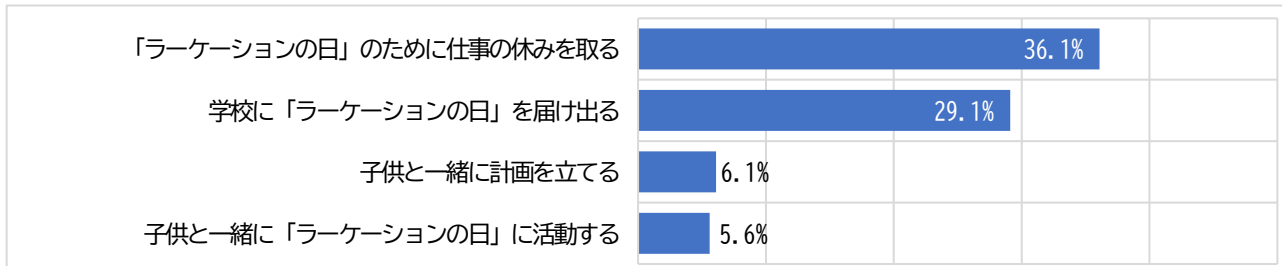
③ 「ラーケーションの日」のルールのうち、知っていることは何か（複数回答可）



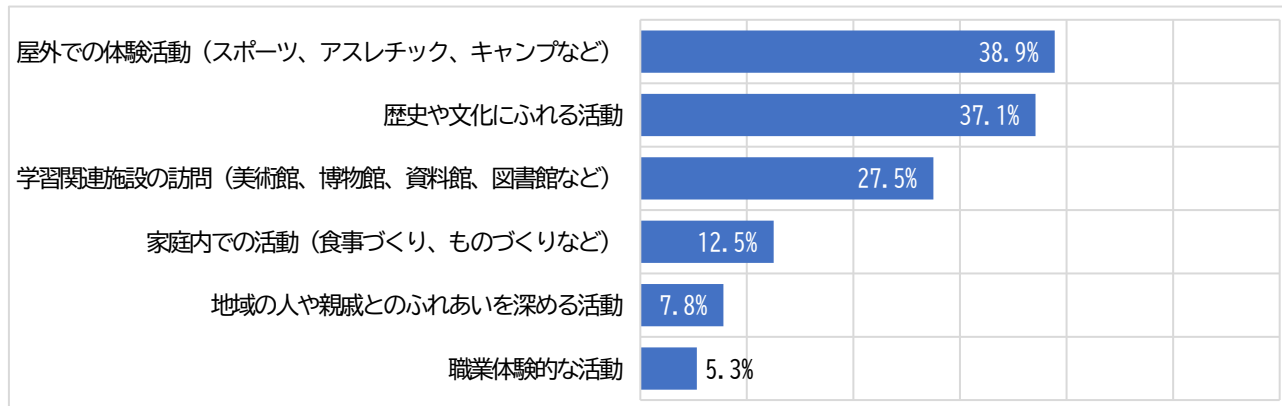
③ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



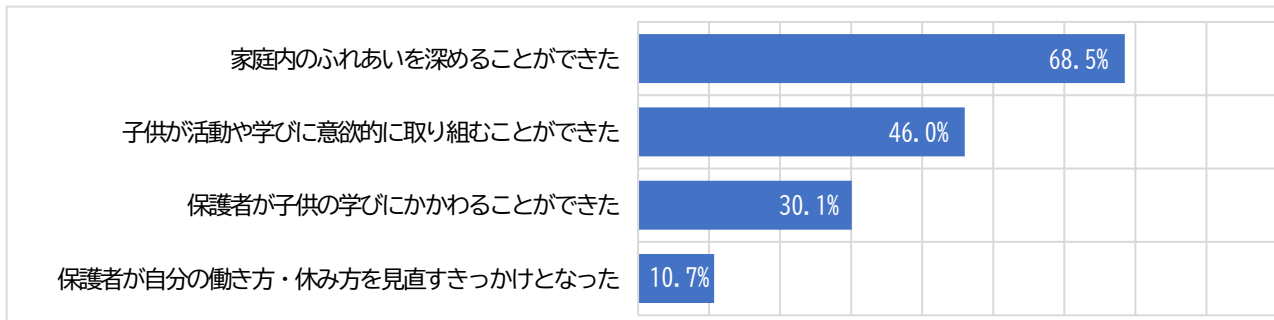
③ 「ラーケーションの日」で負担に感じること（複数回答可）



④ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



③⑤ 「ラーケーションの日」を取得してよかったこと（複数回答可）



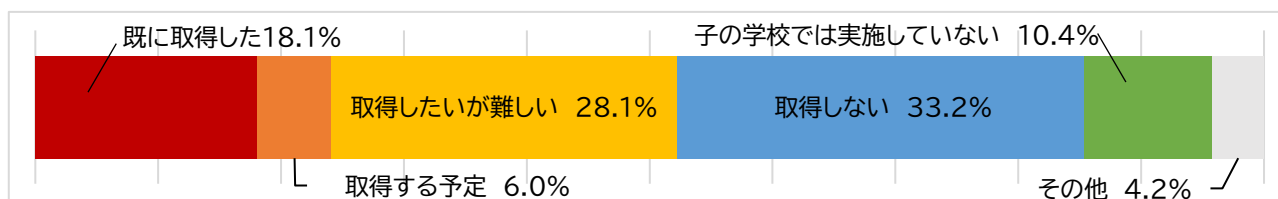
③⑥ 「ラーケーションの日」に関するご意見（自由記述：一部）

- ・ 土日休みが取りにくいサービス業等の職種のため、子供と休みを合わせて出かけられる唯一の機会となり、大変ありがたい。
- ・ 学校ではできないボランティア活動（国際会議など）に参加し、知見を広げることができた。
- ・ 平日料金で宿泊や旅行ができるため、経済的な負担が軽減され、遠出がしやすかった。
- ・ 親自身も有給休暇を取得するきっかけとなり、働き方や休み方を見直す良い機会になった。
- ・ 会社への認知度が低く、親が休みを取りにくい職場環境があるため、社会全体への周知と協力要請を進めてほしい。
- ・ 1日休むだけで授業が進んでしまうため、子供自身が勉強の遅れを気にして取得をためらう。

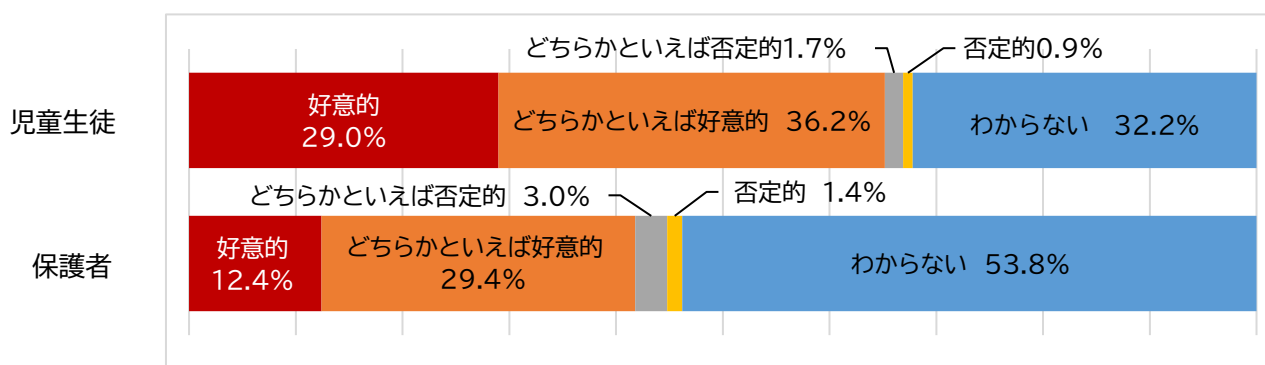
3 教職員

回答者 校長・教頭 124名 部主事 50名 教諭 1,126名  
 実習教員 61名 講師 156名 事務職員 30名 その他 54名  
 合計 1,601名

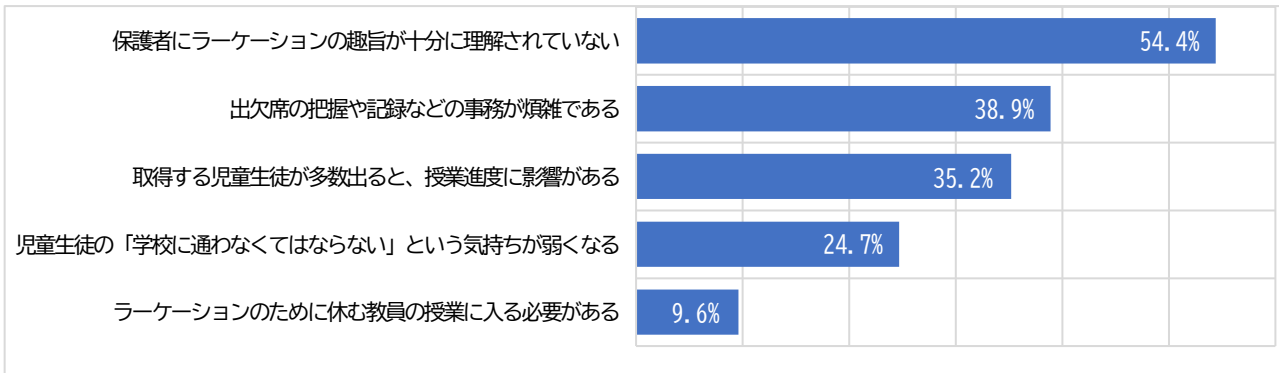
③⑦ 自分の子の「ラーケーションの日」のために有給休暇を取得したか



③⑧ 教職員が感じた「ラーケーションの日」に対する児童生徒・保護者の反応



③⑨ 「ラーケーションの日」の課題（複数回答可）

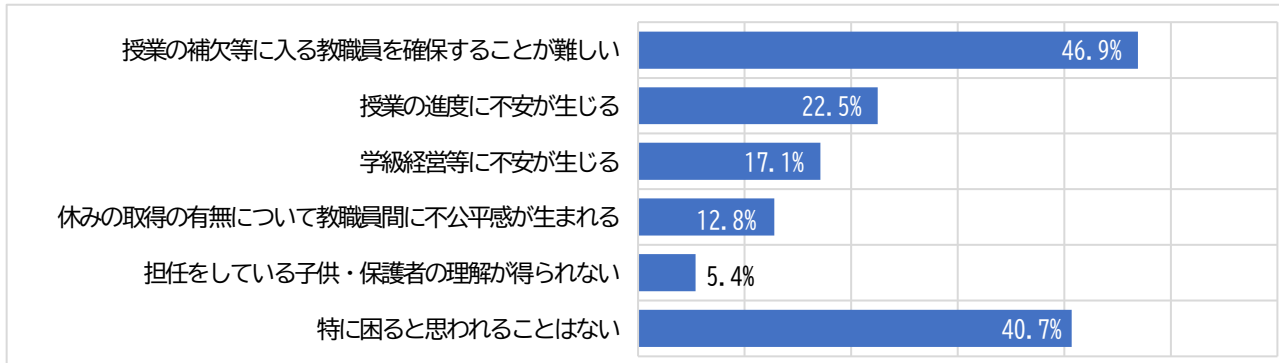


4 学 校

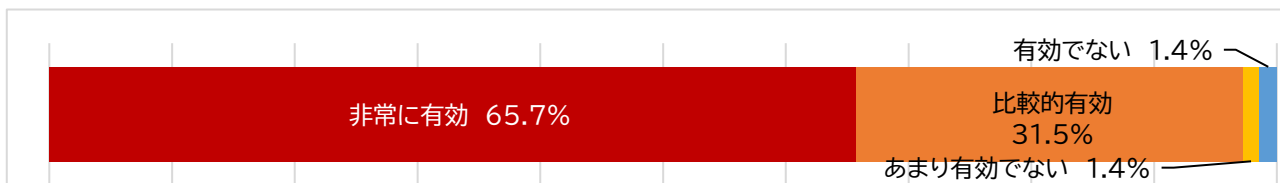
回答数 高等学校 147 校 特別支援学校 29 校

合計 176 校

④⑩ 教職員が「ラーケーションの日」のために年休を取得するときに困ること（複数回答可）



④⑪ 校務支援員※の有効性（校務支援員を任用した学校のみ回答）



※ 校務支援員……ラーケーションの日の導入に伴う事務の増加に対応するため、任用する職員